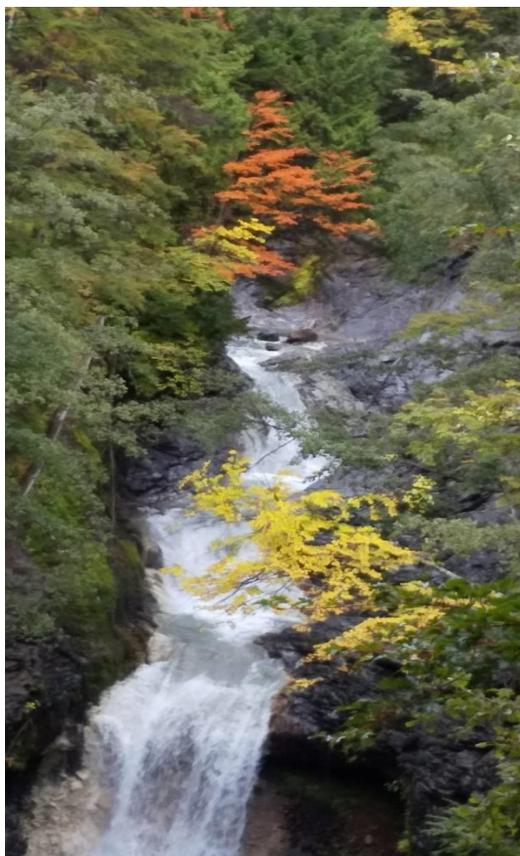


ぶな

2020年11月号

NO. 500



滋賀県勤労者山岳連盟 比良雪稜会

巻頭言

最近はコロナウイルスの感染が心配で以前のように山登りが十分にできない状況ですが、「適度な運動を定期的に行うことが免疫力を高め、感染リスクを低下させる」と多くの研究者が報告しています。しかし適度とはどの程度の運動なのでしょう。それは各自の最大心拍数の70～80%のトレーニングを行うことであり、歩いたり走ったりの有酸素運動を自分が苦しくない速さで一定時間続ける必要があります。最大心拍数は220-年齢で表わされるので当会の平均年齢に近い65歳では155拍となり目標心拍数は70%で109、80%で124拍となります。登山やジョギング中にはこの心拍数を目安にして、この心拍数をあまり超えないようにすることが肝要で、逆に心拍数が上がらなければトレーニングにはなりません。これは心拍トレーニングと云われていて、若い時から高強度のトレーニングを続けていたアスリートでも中高年になれば心拍数を上げすぎないように自分で調整せねばなりません。激しい強度の運動をやりすぎると免疫力は下がり感染リスクが平均より上回るそうですのでもっと鍛えたい人にとっては難しいところです。山登りの途中から息が苦しくなってゼーハーするのはやはりペースが少し速いということなので抑えねばなりません。また免疫力を良い状態に保つには、トレーニングのほかに十分な睡眠、休養、高品質でバランスの取れた食事、ストレスの管理などが必要と言われています。また平熱が高い人の方が抵抗力が高いそうですので体温を上げるように食事や入浴法を考える必要があります。

コロナ感染対策を十分やり相当気を付けていても感染するかもしれません。風邪やインフルエンザも同様です。万一感染したとしても日ごろから上記のようにトレーニングを積んでいる人やよく山登りをしている人はウイルスに対する抵抗力、免疫力が高いので重症化するリスクは低いと言われています。

山登り(山歩き)が何十年も続けられているのは大変有難いことでこれまでの健康や環境に感謝せねばなりません。若い時から身体を動かすのは好きでも運動神経が鈍かった私は山登りでもやはり殆ど進歩せずでしたが、分相応の初中級レベルの山行形態が合っていたということで自分には最適の趣味といえるでしょう。長く楽しませてもらった山もいよいよ最終章になってきましたが、まだしばらくは好きな山を続けられるように頑張りたいと思います。

NK

<例会山行案内>

第 21 回比良山系飲み水水質調査・第 6 回放射線測定山行

今年もこの季節がやってきました。清掃登山を実施したばかりですが、共に当会が続けている自然保護活動です。紅葉には早そうですが、山の恵みを楽しめるといいですね。今年は南比良峠で両コースが会えるかな？
皆様のご協力お願い致します。

11月3日(火祝) 7:00 和邇川河川敷

<コース>

1班 大橋スリバチの水方面

和邇川河川敷=坊村~牛コバ~○大橋スリバチの水~南比良峠(昼食)
~烏谷山~摺鉢山~○白滝谷登山口湧水~坊村=○権現山登山口湧水(採水)
=事務所

2班 荒川峠方面

和邇川河川敷=(中谷出合登山口へ配車)=●イン谷口~●大山口~
●北比良峠~○●八雲ヶ原水場~●金糞峠~●南比良峠(昼食)~
●荒川峠~○●荒川峠道湧水~●中谷出合登山口=(イン谷口へ車回収)
=○●金比羅道の湧水=事務所

※○印は採水場所、●印は放射線測定場所です。

※採水用具等はこちらで用意します。終了後事務所に集めます。

※放射線測定は、機器が1台しか借りられないため、荒川峠方面のみの測定です。

※交通費は、会負担です。

レベル 体力 ★★☆☆☆ 技術 ★★☆☆☆

持ち物 水、昼食、非常食、地図、磁石、雨具、ヘッドライト、スリング、カラビナ、その他日帰り装備

申込み先 K 藤

希望コースを明記のうえ、お申し込み下さい。

締め切り 10月28日(水)

※お知らせが遅れましたので、締め切りを過ぎても受け付けますので、ご相談ください。

例会案内

滋賀 40 山 高室山

多賀町佐目の後谷登山口から入山し 360 度の大展望が広がる高室山に登ります。御池岳、鈴北岳など北鈴鹿の山々をはじめびわ湖、湖西の山々も遠望できます。

なお、晩秋につき、コース変更しました。(万野は登りません)

(コース)

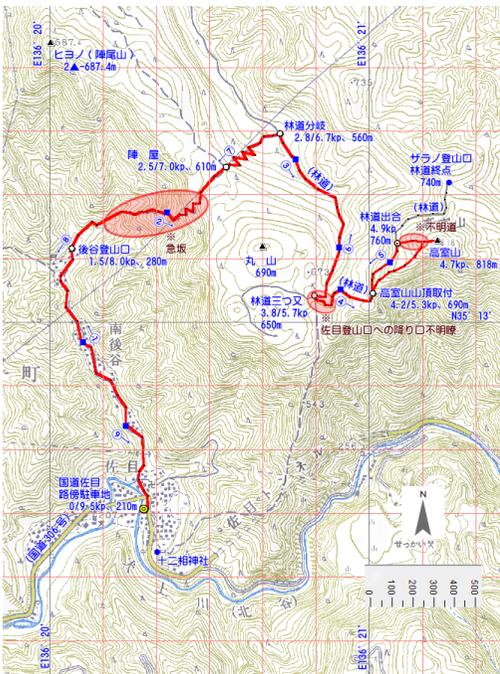
堅田駅 7:00=道の駅びわ湖大橋米プラザ 7:10=佐目駐車場 9:00~後谷登山口 9:45~陣屋 10:45~高室山 12:00~陣屋 13:30~駐車場 15:30=米プラザ=堅田駅 17:30

(集合) 11 月 8 日 (日) 7:00 堅田駅

7:05 道の駅びわ湖大橋米プラザでピックアップします。
雨天中止 (中止の場合、前日に連絡します)

(申込先) H 島

(締切) 11 月 2 日 (月)



(装備) 地図、ヘッドライト、コンパス他
通常の日帰り装備

写真左 急峻な崖は御池岳のボタンプチ



【例会山行案内】

〈比良の古道〉坊村～葛川越

2年前の例会で琵琶湖側から登った葛川越の古道を今回は葛川側から登ってみます。坊村から明王谷林道の終点牛コバを経て葛川越への道はかなり不明瞭な踏み跡をたどりながら登りますが琵琶湖側からの道より迷いやすくすんなり登れません。トラバース気味に登っていきますので滑落に注意です。中腹になると古道が結構残っており炭焼き窯の跡も見受けられます。クルシ谷四俣の真ん中を詰めて行った源頭あたりはきれいな様相です。峠への上部ははっきりした道が残っています。葛川越に着き縦走路を烏谷山まで登りお昼の予定。そこから摺鉢山を経由して奥の深谷道へ出て牛コバへ下山します。当初は比良岳から夫婦滝へ下り白滝谷を下山路に使うつもりで下見をしましたが道がかなり荒れていて渡渉や少々危険箇所もありましたので変更しました。

日時 2020年11月22日(日)

集合 和邇川河川敷駐車場 AM6:30

葛川市民センターの駐車場へ向かいます

行程 坊村～牛コバ～クルシ谷四俣～葛川越～烏谷山～摺鉢山～牛コバ～坊村

7:30 8:30

11:30 12:00-30 13:00 14:30 15:30

持ち物 昼食・飲み物・地図・磁石・雨具・防寒具・ヘッドランプ

マスク・除菌ティッシュ・など

レベル 体力★★★★☆☆ 技術★★★★☆☆～★★★★☆(危険なわけではありません)

時間 約8時間 (CT:不明)

距離 約11km

申し込み N尾

締切 11月16日(月)

雨天中止 中止の時は前日に連絡します。

(前日に雨がよく降れば中止することもあります)

《例会山行案内》

愛宕山

(嵐山から紅葉巡り)

紅葉の嵐山から京都トレイル(西山コース)を歩き清滝を経て愛宕山に登ります。下山はツツジ尾根を使ってJR保津峡駅まで下ります。去年のポンポン山と同様、この例会も電車山行です。下山後は感染防止をしながらビールを飲みたいと思います。

日 程： 11月25日(水)

集 合： 京都駅31番ホーム 8:00

行 程： JR嵯峨嵐山駅8:35～六丁峠9:20～清滝10:00～登山口10:15～月輪寺

11:10～(昼食)～愛宕神社13:30～水尾別れ13:50～荒神峠14:10～JR保津峡15:10＝京都駅

レベル：初級 体力 ★★☆☆☆ 技術★☆☆☆☆

持ち物：水、弁当、雨具、防寒着、ヘッドライト、日帰り装備

申込先：K原

締め切り：11月19日(木)

雨天中止：中止の場合、前日に連絡します。

追 伸 *解散は京都駅(集合場所)とします。

*プールは自由参加です。参加の方は申込時にお知らせ下さい。

*案内は下見前に作成しておりますので行程等を変更する場合があります。

<例会山行案内>

滋賀40山

余呉 上谷山 1196.7m

余呉トレイルの最奥、福井県境の深い藪に覆われた山。登山道はなく、積雪期には登頂される人がいますが、無雪期は人を寄せ付けない。

三角点を見て 踏みたいと 敢えて無雪期に、しかも滋賀の会としては、福井側からに比べより難しい滋賀側からアプローチしたいと計画しました。

4月の実施が叶わなかったので、雪の来る前、藪が少し浅くなるこの晩秋の時期を狙って、針川から山頂に続く尾根ルートで。

727m付近はブナ林が広がり、それより1000m位までの尾根はブナが続き、黄葉が楽しめます。1000mを越えるとヤブが深くなって非常に手強く未知の領域です。

2度の下見はいずれもヤブに阻まれ1041m付近で敗退してます。今回こそは何としても登頂したい思いです。湖北の最難関とも言える道なき遠い山に挑戦しませんか！

日 程： 11月29日(日) 雨天は中止

コース： 和邇川河川敷駐車場＝余呉町中河内＝針川 7:00～727 ピーク～781.2
石留山～1041m～1059m～ 13:00 上谷山 1196.7m～(往路を戻る)～針川
17:00＝和邇 20:00 歩行 10 時間位を想定 (藪こぎで想定以上に時間を要して下山は暗くなるかもしれません。)

レベル： 体力 ★★★☆☆ 技術 ★★☆☆☆

集 合： 和邇川河川敷駐車場 5:00 集合出発

又 前日から現地入り希望の方は針川 7:00 集合

交 通： マイカー

持 物： 昼食・行動食・非常食・飲物・雨具・地図・磁石・ヘッドライト・
ストック等の日帰り装備及び お持ちの方は鋸・鎌(雑木用)等

担当&申込先： N村

締 切： 11月23日(月・祝)

比良山系①コース白滝山～打見山

日 程：2020 年 9 月 27 日（日） 天気：くもり一時小雨

参加者：1 班 CLN 村 SLH 部 O 村 H 浦 S 井 T 中(山友会)

一般(Y 末・M 吉・S 木)

2 班 CLH 島 SLN 尾 K 原 N 野 T 中 G 阿弥 T 田(山友会)

一般(M 井・I 沢)

会員 11 他会 2 一般 5 計 18 名

行 程：堅田駅集合 8：30＝8：50 江若交通バス＝坊村 9：40～伊藤新道～ワサビ大滝～白滝山山頂 12：50（お昼）13：20～オトワ池～夫婦滝分岐～打見山山頂駅 15：40＝（ロープウェイ）＝山麓駅 16：00（ゴミ分別・計量・報告後解散）

毎年 6 月に実施している清掃登山もコロナの影響で延期になっていましたが、交流山行も兼ねて開催することが出来ました。例年と同様に江若交通さんとびわ湖バレイさんの協力も得られた。

今年の①コースは坊村から白滝山を越えて打見山を目指します。天気予報ではにわか雨ありと、最後まで持ってくれたらとの期待も、出発前の準備運動時からパラパラと、とりつき前の林道途中で雨が本格的になり始めたので、雨具をつけました。白滝山までは急登が続きます。途中で雨も止み、心配していたわさび大滝前も無事に通過。

ちらほらと「まだかなあ」という声が上がりはじめた時分に山頂に到着しました。昼食後、一気に下ってオトワ池着。池の周りはロケーションも良く、休憩する人も多いでしょう、少しゴミが多かったように思えました。

夫婦滝の分岐からは沢沿いの道で濡れた岩のトラバースも多く、要注意。洩も数年前の豪雨の時に流れてきたのでしょうか、大きな流木が横たわり、枝やゴミがせき止められていて景観が残念になっていました。スキー場手前の最後の橋が壊れていましたが、水は浅く、みな無事渡渉し、汁谷から山頂駅へ、②コースより 1 時間ほど遅れて到着しました。

山頂で合同での記念撮影をし、皆一緒にロープウェイで下山。山麓駅前で分別、計量し、今年の清掃登山を無事終了しました。（記録 G 阿弥）

<回収ゴミ量>

	可燃ゴミ	不燃ゴミ	ペットボトル	ビン	缶	合計
単位kg	17.0	4.5	0.5	2.0	1.0	25.0

(CLより)

- ・このコースは沢沿いが多く、全体的に荒れが目立った。2年前・3年前の台風の影響かと思われる。特に夫婦滝分岐～汁谷間は荒れがひどく、渡渉を含め難所が数カ所あって予想以上に時間を要した。今後、このコースは清掃登山から除外したい。
- ・9/27 は当会を含め 4 会の交流山行が集中したので他会から参加者が無いかも・・・と思っていたが、山友会より 2 名(②コースも合わせると 4 名)参加があり、いろいろ話が出来、参考になることも多く有意義だった。 N 村





例会山行報告 第48回クリーンハイク兼県連交流山行

2020年9月27日(日)

②コース 小女郎峠～蓬萊山～打見山

参加者

一班 CI K 藤、SI Y 口、F 野、Y 川、S 藤、I 井、N 田、K 保田、K 原(山友会)、
H(一般)

二班 SL H 野、SL K 嶋、K 井、S 水、N 井、I 井、K 林、M 隅(山友会)、I 藤(一般)
会員15名 他会2名 一般2名 合計19名

9時 蓬萊駅集合 K 藤リーダー・ 県連 F 川氏 挨拶
9時10分 出発
9時50分 福谷の郷 5分間休憩
10時25分 登山口休憩 大津市の要綱に準じゴミの仕分け
翌日大津市が回収に来られる。

林道分	可燃ゴミ	不燃ゴミ	ペット ボトル	瓶	缶	合計
単位kg	11.6	6.8	1.0	6.0	3.7	29.1

11時5分 薬師滝付近 5分間休憩
12時50分 小女郎峠通過
13時10分 小女郎ヶ池到着 30分昼食 記念撮影
14時10分 蓬萊山 テラスにて小休止
14時35分 打見山到着 ①班の到着を待つ
15時40分 ①班到着 記念撮影
16時 ロープウェイ乗車
16時20分 ロープウェイ山麓駅駐車場前にてゴミの選別計量、解散

登山道分	可燃ゴミ	不燃ゴミ	ペット ボトル	瓶	缶	合計
単位kg	10.5	0.9	0.03	0.05	0.03	11.51
総計	22.1	7.7	1.03	6.05	3.73	40.61

記録係 K 井

(感想)雨がぱらつくような天気で涼しかった。相変わらず林道にはゴミが多かった。

時節柄落ちているマスクが目立った。(K 藤)

<登山祭典の下見山行報告>

マキノ 寒風・大谷山 813.9m

日時：10月18日(日) 天気：薄曇り午後晴れ

参加者：CL N村(記録) SL H島 F川 F野(写真) 4名

行程：和邇7:30==マキノ町石庭(配車)=マキノ高原駐車場9:15~ゲレンデ上部9:40~西山林道分岐10:00~ベンチ10:20~ブナ林10:35~寒風11:20 ~11:55 大谷山(昼食)12:25~石庭への分岐12:40~小さくも美しい谷13:00~眺望コース分岐13:10~石庭14:35=マキノ高原駐車場==和邇

ピクランド及びメタセコイア並木付近は早朝からいっぱい車(バイクも)と人！そしてマキノ高原にはテントがぎっしり！ファミリーが多い。コロナ禍でキャンプが大人気の由。

ゲレンデを左寄りに登って行き、上部で左の登山道に入る。

支尾根に乗ったところが、西山林道への分岐。

途中にベンチがあり、マキノ高原を見下ろす休憩ポイントだ。

やがてブナ林に突入する。感動を覚える美しい風景だ。まだ色づき始めではあるが。

ブナ林が途切れ、主稜に出たところが寒風である。びわ湖が一望。

写真を撮り、大谷山に向かう。ススキをかき分けて進むのであるが迷いそうな位深い。

天気が良くなってきて、大谷山は白くキラキラと輝いていた。全面覆っているススキの穂の仕業である。

昼食の後、下山にかかる。山頂からすぐの眺望コースもあるが、縦走路を15分位進んだ分岐からのメインコースをとる。

20分位でブナ林に囲まれた美しい谷に一旦下りる。私のお気に入りのスポットである。

ちょっと上った所の眺望コースの分岐を過ぎると、あとはどンドン下りだけ。

14:35 電柵を抜けると田んぼに出て、下見終了。

危険個所はなく、とてもよいコースであった。本番はさらに秋が深まるので、皆もきっと楽しめることだろう。



報告 N村

〈個人山行報告〉

有明山 (信濃富士) 2268m

2020年9月20日(日)～21日(祝) 晴れのち曇り～22日(祝)

参加者 N尾ほか2名

(行程・記録) 20日の夜に出発して中房温泉臨時駐車場に置きバスで有明荘まで
有明荘～登山口3～稜線～有明山～中岳～有明山～稜線～登山口2～有明荘(泊)

6:40 6:48 10:52 11:28 11:51 12:05-39 13:05 16:22 16:31

(一口感想)

9月の連休を使い数年ぶりに同級生と信州への山旅をしてきました。有明山に登るのに一番ポピュラーな有明荘からの裏参道コースにしたのですが、普通の登山道は最初だけで稜線へ出るまでは県内では見られない程ロープが多い急登やはしごが連続するコースにさすがは修験者道と感じました。山頂からの新表銀座の山々の展望を楽しみにしていましたが視界さっぱりで残念。中岳まで引き返し山頂でお昼にしてもと来た道を下りましたが滑りやすい木の根が多い道を無事に下山できホッとしました。

僅か往復6,5km程を10時間近くかかった難路を堪能してきました。 N尾

有明山は登山口登り初めから急な斜面となり、所々にロープが架けてある。これを頼りに登っていくが、木の根が張って歩きづらい。ストックをしまい、四つんばいになって登る。これが延々と頂上まで続く。11:25有明山北岳山頂に到着した。ヤッター!。この歳、この体力でこの山に登るのは無理、と思っていた。素直にうれしい。この山に導いてくれた山友に感謝! KN氏

山道はほぼ「てっぺん」まで続く急斜面、急登。足元は巾広い木の根の段差とロープ、ハシゴ、鎖場トラバースもありで、久々にハードな体験登山でした。

「登ろう」としたことが、「登った」に変わった。

自信を持たせてくれた山と誘ってくれた友人に感謝します。

AO氏



<個人山行報告>

青 葉 山

日 時 : 2020 年 9 月 21 日 (月・祝)

参加者 : H野(CL)、O村益(SL)、O村智

行 程 : 堅田(6:00)=登山口、駐車場(8:00)~展望台(9:10)~馬の背(9:45)
~東峰(10:00)~鎖場(10:10)~大師洞(10:30)~(10:40)西峰(11:30)
~今寺集落(12:30)~登山口(13:30)

4連休の天気の良い日にO村夫妻をお誘いして、福井県の青葉山に出かけました。堅田から登山口駐車場までは、2時間で到着。途中、国道27号から「若狭富士」とも呼ばれる美しい山容が望めます。

「青葉神社」の鳥居をくぐってのスタートは、信仰に深い関りがある山であることが感じられます。東峰(693m)、西峰(692)と高くはない山ですが、馬の背、鎖場、岩室くぐり、長い鉄はしご、変化に富んだ登山道で楽しい山行でした。下りは、今寺集落方面へ下山し登山口に向かう周回コースとしました。南側から見る青葉山は、二つの峰が並ぶ双耳峰であることが確認できます。(記 : H野)



馬の背

両側が切れ落ちている大岩の上を渡る。



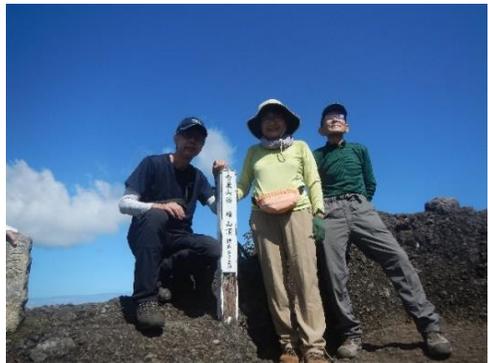
鎖場

新しい綱が張られていた。



大師洞窟

岩室の中を通り抜ける。



西峰

社の後ろにある大岩をよじ登れば頂上。

<個人山行報告>

白馬岳

日 時 2020年9月30日～10月4日

参加者 ① CL H島 SL H浦 T中 K林

② CL F野 SL I井 N田

行 程

9月30日 各地－敦賀－糸魚川－蓮華温泉ロッジ(14:30)

10月1日 蓮華温泉(8:00)－天狗の庭－白馬大池山荘(13:00)

10月2日 白馬大池山荘(6:50)－小蓮華山－三国境－白馬岳－白馬山荘
(12:15)

10月3日 白馬山荘(5:05)－白馬岳－三国境－鉦山道分岐－蓮華温泉
(14:35)

10月4日 蓮華温泉(8:30)－帰路

30日 曇 蓮華温泉到着後、野外の露天風呂に入りに行く。ロッジから5分から15分位登ったところに4つの露天風呂がある。女性陣が一番上の薬師の湯へ。男性陣はその下の仙気の湯へ。目の前に水蒸気(硫黄?)の煙がもくもくと出ている。

1日 曇時々雨 蓮華温泉8:00 ①若組②シルバー組共に出発。②組はゆっくり景色を楽しみながら歩く(実は、ゆっくりしか歩けない)。砂利道を登って行くと、雨が降り出した。カッパを着て歩く。やがて1651m白馬大池4kmの標識あり。早速休憩(8:40)。続いて1752m、1925mの標識あり。まもなく天狗の庭(10:20)に到着。ここでお茶にして、一息入れる。雨は降ったりやんだりであったが、白馬大池山荘到着前に本降りとなる。雨とガスの中を歩き、大池山荘到着(13:00)。夕食まで談話室でお喋り。外は雨が止み、ガスが立ち込めたり上がったりしている。

2日 晴 昨日と打って変わって、今日は晴天。大池山荘を6:50に出発。晴天の中、周囲を眺めながら気持ちよく歩く。船越の頭着(8:05)。さらに150mほど登って石のごろごろした小蓮華山に着く(9:30)。逆鉦の剣のようなものあり。ゆっくり休憩して三国境へ。三国境到着(10:35)。帰りはここから鉦山道をとる。ここから1時間ほどかけて白馬岳に。2932m白馬岳到着(11:50)。北アルプスの山々が見える。山頂到着を喜びつつ、白馬山荘まで15分ほど降りる。白馬山荘到着(12:15)。ここで①組は近くの山に登りに行くも、N田・I井は、そのような元気なし。小屋で待機。談話室の日当たりのよいところで本を読んだり、小屋の中を

- 見て回ったりしながら、夕食までの時間を過ごす。寒いので、夕食後は早々に就寝。
- 3日 晴 朝食を弁当にしてもらい、山頂からの日の出を見に行く。白馬岳山頂(5:20)。それほど寒くはないが風が強い。日の出を待つこと暫し。5:40頃陽が昇ってきた。いつ見ても山で見る日の出は美しい。25分ほど山頂に滞在して、三国境へ向かう。三国境到着(6:25)。朝食をとる。これよりガレ場の急坂を下り、鉾山道分岐に着く(7:25)。ここから紅葉の美しさを眺めながらの下山となる。塩谷精練所跡手前に水場があり、水の補給をなす。精練所跡(8:40)。神の田圃着(10:00)。ここより20分ほど行って登山道より少し上がったところに展望台あり(10:25)。昼食をとる。ここからの鉾山道は川の流れるようになっている石ころ道を(水は流れてない)下る。紅葉もなくなり、ひたすら歩く。瀬戸川着(12:50)。すぐに地図上の木の橋(12:50)、実はアルミ橋を渡る。さらに樹間の道を進みカモシカ展望台分岐(13:25)を経て蓮華温泉ロッジに帰着(14:35)。
- 4日 曇 朝食後、露天風呂に行き、温泉を堪能して帰路につく(8:30)。

一口感想

白馬大池の草紅葉、秋晴れ白馬岳稜線、鉾山道紅葉のトンネル、蓮華温泉の野天風呂夢のような5日間でした。(H島)

コロナと危険な暑さと年齢を考えて、今年の百名山は無理だなあ〜と諦めていたところに、‘白馬岳’のお誘いが入る。不安と挑戦心がわき、思い切って参加させてもらいました。9/30は移動。尼御前・有磯海のドライブインで食事・休憩をとりつつ…。10/1は、ぽつぽつ雨に二回出合うもたいしたことなく、白馬大池に到着。十五夜を愛で、早々に就寝。10/2は快晴！霜柱を踏みしめ、立ち休憩や30分に一度の休憩をリーダーさんが入れてくださり、大阪から来られたご夫婦と抜きつ抜かれつしながら頂上に着く。感動して握手を交わし、写真を撮る！頂上で古希の誕生日を迎えるとは・・・感謝と感激で、一人悦に入っていました。10/3は、吹き飛ばされそうな風にもめげず、再度頂上に立つ。ご来光に手を合わせ、後ろを見ると、十六夜の月が・・・、不思議な風景！！紅葉に感嘆の声をあげつつ下山。渡渉やバウンド入りの瀬戸川橋。ザレ場、水のない溪流の道等々変化に富み、少しも気を緩められない。ミヤマシャジン・カラマツソウ・アカモノ・ホタルフクロ・ギンリョウソウ・ボロギク・ノコンギク・ヤマハハコ・ノハラアザミ・ゴゼンタチバナ、蓮華温泉の外湯の周りには、ススキとリンドウが夏の名残と秋の花がハーモニーを！！とても楽しい素敵な思い出一杯の山登りでした。リーダーさん、サブリーダーさん、皆さん有り難うございました。(^^)/ (N田)

お天気に恵まれ最高の稜線歩きになりました。登山してて良かったと、感激！
白馬岳からの日の出も素晴らしかったが風も凄かった(TT)
こんなに楽しくて良い山歩きなのに、また渡渉で汚点を残してしまった、残念。

(H 浦)

白馬岳への稜線は笑いが止まらないほど美しく感激しました。翌朝、冷たい風の中で待った甲斐あり雲海にご来光と 360° の眺めは絶景でした。鉱山道は、たっぷり秋を感じながらの長ーい道のりも絶品でした。三年前に行った雪倉岳も雄大で親不知まで縦走した山々を眺めることが出来て嬉しかったです。蓮華温泉では露天風呂めぐり、着脱も徐々にスピードアップし楽しかったです。秋をたっぷり満喫でき、贅沢な思い出に残る山行でした。

(T 中)

行きたかった白馬岳、今回は歩行時間を短くして、山小屋に早く着く行程だったのでなんとか行くことができました。この行程に感謝。白馬岳山頂からの日の出は素晴らしく、鉱山道の紅葉は美しく、野外の露天風呂は面白く、楽しい思い出を作ることができました。

(I 井)



船越の頭

白馬岳山頂



鉾山道



《個人山行報告》

女人道・高野三山

□10月13日（火）曇りのち晴れ、

□参加者 K原、H島、F野

□高野山の高野七口女人堂跡（女人道）と高野三山（摩尼山 1004m・楊柳山 1008m・
 転軸山 915m）を巡る女人道を歩いた。案内には「高野七口とは、高野山への七つあ
 る参詣道の入り口のこと、明治5年に女人禁制が解かれるまで女性はそこから山内
 には入れず各入口に女性のための籠り堂として女人堂が建った。当時の女性はこれらの
 女人堂を結ぶ道を歩いた。その道が女人道として現在も残る。高野三山を巡る道も三
 山巡礼を称され女人道の一つである」と。今回は女人道に加え奥之院（弘法大師御
 廟）まで足を延ばし山内観光を楽しんだ。距離は 17 km、歩行時間は 6.5 時間。

□9：30 中ノ橋駐車場着。堅田から 150 km 3 時間を要した。駐車場は閑散として人も少

ない。9：50 スタート、先ずは摩尼山（まに
 さん）を目指し石塔が立ち並ぶ荘厳で静寂な
 境内を進み山道入口に着く、しばらく行くと
 急登が始まり摩尼峠を越えさらに山頂まで急
 登が続いた 10：40 山頂。山頂は薄暗く樹林
 囲まれて朽ちかけた小さな祠がありこの道の
 長い信仰の歴史を物語っていた。そしてこの
 先の 2 座の山頂にも同じような祠に地蔵に安
 置されていた。黒河峠を越え 11：20 楊柳山
 （ようりゅうさん）着、三山の最高峰なので
 記念撮影をして一息入れ 3 座目を目指す。ハ
 イキングコースと思いきや結構なアップダウ
 ンもあって展望もない。途中昼食をとって粉
 撞峠を経て杉林の急坂を登り 12：50 転軸山
 （てんじゅくさん）着、ここでは橋本市方面
 の展望があった。三山の次は不動坂口女人堂
 を目指す。ここからかなり下り森林公園や民
 家の間を通過し再び樹林の古道を登り下りし
 て進む。

14：00 女人堂、山門手前に建っていて現存
 する唯一の女人堂で一千年余り女性はここか



ら山内に入ることが許されなかったと説明にあった。F野さんは蠟燭を供え手を合わせていた。本来はここが女人道巡りの起点で

- ① ~57の標識が設置されマップを見ながら歩ける。次に目指すのは1km先の弁天岳を経て大門。すぐに急登が始まり女人堂跡などを横目に汗を流す。14:30 弁天岳、弁天さんを祀る祠や鳥居があり、これまで山頂とは趣が違ふ。ここから下りで大門口女人堂跡を通過しばらくして大門の屋根瓦が見えた。14:55 大門着、壮大な山門で驚く。さて、ここに来て折角来たのだから女人道を外れ山内を観光したいとの意見が出て一致。大門から奥之院まで3km余りを山内観光して歩き16:30 駐車場着く。20:10 堅田着。帰り道に柿を買って土産にした。お疲れ様でした。 記：K原



《個人山行報告》

大杉谷～日出ヶ岳

日 時：10/17(土)-10/18(日)

参加者：K嶋 CL、K井 SL、I井、N井、S水、I藤(友人)

工 程;10/17 大津京 5:30～各自宅～大杉溪谷登山口 9:30～千尋滝 10:50～シシ淵 12:50
～平等グラ 14:00～桃ノ木山の家 15:25(泊)

10/18 桃ノ木山の家 7:15～七ツ釜滝 7:40～光滝 9:15～隠滝 9:35～堂倉滝
10:15～大杉谷入口 12:10～シャクナゲ平 14:10～日出ヶ岳 14:55～大
台ヶ原駐車場 15:40～帰滋

いつもの同級生メンバーで九人乗りのジャンボタクシーを借りて、日本三大溪谷の一つでもある大杉谷へ…。日本有数の多雨地域なので、雨に降られる覚悟は出来てたけど、初日は出発時から終日雨での歩きとなったのは少々残念だった。それでも次々と現れる滝や吊橋の数々、連続した鎖場や岩場の通過等々、楽しかったかな…。

二日目は途中ポツリと来たものの、雨具を着る事もなく最後の日出ヶ岳では晴れ間も…ただ、ルート上は昨日からの雨で濡れている岩場の通過が思っていた以上に良く滑り、五年前に例会で歩いた時とは比べ物にならないくらい、緊張の連続だった。大台ヶ原の駐車場に全員無事に着いた時は正直ホッとした。このメンバーとの山行も段々とレベルがアップしてきてるけど、これからも安全登山を心掛けていきたい。(報告：K嶋)





滋賀県勤労者山岳連盟

比良雪稜会

滋賀県大津市和邇今宿 712-1 西村方

TEL&FAX 077-594-0454

E-mail kazuyo-buna@river.sannet.ne.jp

HP <https://aquafoal39.sakura.ne.jp>